

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	田中 良一
こども-22 子ども会館・子どもの家整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	青少年課
			関連課	こどもみらい課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備

1 事業の目的

対象	市内に居住する乳幼児・小中学生等
意図	子ども会館の整備を行い遊びを通して相互の交流が図られ社会性が身につけられるよう充実を図るとともに、子どもの家の整備を行い増加する学童保育の需要に対応するため。
効果	心身ともに健やかな成長を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

子ども会館・子どもの家の施設整備を行った。 ・耐震に課題があつて閉館していた深沢子ども会館を平成26年8月に暫定施設として開館した。 ・腰越子ども会館・子どもの家の建設に向けた手続きを行った。 ・教育委員会、学校の協力を得て、深沢小学校内に放課後新たに教室を借受けた。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人口	177,243人	人口	177,464人	
世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		
事業の対象者数	22,875人	事業の対象者数	22,968人		
運営資源状況	当初予算(千円)	28,284	決算値(千円)	10,238	
	国県支出金	15,486	国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	12,798	一般財源	10,238	
事業経費運営	人員配置数	1.5	人員配置数	2.2	
	人件費(千円)	12,323	人件費(千円)	17,507	
	総事業費(千円)	40,607	総事業費(千円)	27,745	
	市民1人当りの経費(円)	229	市民1人当りの経費(円)	156	
	対象者1人当りの経費(円)	1,775	対象者1人当りの経費(円)	1,208	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が導入されることから、子ども会館・子どもの家における円滑な運営を図るため、施設整備等について検討していく必要がある。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	・耐震に課題があり閉館した深沢子ども会館について、平成26年8月に暫定施設として開館した。 ・待機児童を解消するため、教育委員会、学校の協力を得て、深沢小学校内に放課後新たに教室を借受けた。また、腰越子ども会館・子どもの家、山崎子どもの家及び大船子どもの家の施設整備に向けた手続きを行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	・子ども・子育て支援新制度に基づき、学童保育のニーズ量を確保するため、平成27年度から5年間で計画的な施設整備を図る必要がある。 ・学校から距離がある西鎌倉子どもの家の整備を進めること。同じく岩瀬子どもの家については、既に放課後子供教室が実施されていることから、放課後子ども総合プランの実施を視野に入れて検討を進めること。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し類の <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直し類の ・学童保育のニーズ量を確保するため、平成27年度から5年間、計画的な施設整備を進めていく必要がある。 ・放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に進める放課後子ども総合プランの実施に向けて進めていく。
	事業へ統合		
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成27年度から5年間、施設整備を進めたいための経費を予算化する。 ・放課後子ども総合プランの実施に向けた経費を予算化する。
総評	学童保育のニーズ量を確保するため、積極的に施設整備を進めている。今後、放課後子ども総合プランの実施等、新たな取組も含めニーズ量の確保に努めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子どもの家のニーズ量を確保する。						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
平成27年3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画」では学童保育(子どもの家)のニーズ量の見込みに対して、平成31年度まで確保することを目標としているため。	目標値	—	1,691.0	1,673.0	1,686.0	1,666.0	1,666.0				
	実績値	1,355.0	1,457.0								
	達成率		86.2%								
指標の内容	放課後子ども総合プランの実施						単位	箇所	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
平成27年3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画」に放課後子ども総合プランの実施を位置づけているため。	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
	実績値	0.0	0.0								
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	学童保育のニーズ量確保に向けて子どもの家の施設整備を進めるとともに、学校を活用した放課後子ども総合プランの導入等についても検討する。										

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---